

# 高松宮妃癌研究基金 第30回 国際講演会

## Overcoming Resistance to Targeted Cancer Therapies

by **Dr. Charles L. Sawyers**

*Investigator, Howard Hughes Medical Institute  
Marie Josee and Henry Kravis Professor  
Chair, Human Oncology and Pathogenesis Program  
Memorial Sloan Kettering Cancer Center, New York, U.S.A.*

Sawyers博士は、染色体転座によって発症する慢性骨髄性白血病(CML)に対する特異的な阻害剤グリベックの開発において中核的な役割を果たされた学者であり、グリベックの開発後はグリベックに耐性が生じたCMLに対して効果的な阻害剤の開発をX線結晶構造解析の方法などを駆使して行っている。また最近は進行性前立腺がんにも有効な新規がん剤の開発で顕著な成果を上げている。分子標的制がん剤の開発の権威である。

1959年生まれ。ジョンズホプキンス大学医学部卒。プリンストン大学で歴史も学ぶ。米国科学アカデミー会員。2009年ラスカー賞受賞。

2010年12月23日 (木・祝日) 16:30-18:00

京都大学医学部「芝蘭会館」稲盛ホール

(京都市左京区吉田近衛町 京都大学医学部構内)

主 催：公益財団法人 高松宮妃癌研究基金

後 援：社団法人 芝蘭会 財団法人 藤原記念財団

連絡先：京都大学大学院医学研究科遺伝薬理学教室

教授 武藤 誠 (Makoto Mark Taketo)

Tel: 075-753-4477 Fax: 075-753-4402